



人口政策の成り立ちを考える

Linking Past to Present

2016



6/11

SAT

15:00-18:40

「少子化・人口減少の危機」に直面した21世紀、日本の人口政策はどうあるべきか。戦前期日本の「産めよ殖やせよ」の時代は、現在ユニバーサルな政策のもとで出生率を回復させたフランスとスウェーデンにとっても、今日まで続く政策の土台を築き上げた時代であった。なぜ彼らは成功し、我々は失敗したか。長期の歴史に学びつつ、従来の福祉・労働政策的な少子化対策を超える我が国の人口政策を考える。

組織者：加藤 彰彦 (明治大学)・黒須 里美 (麗澤大学)

座長：原 俊彦 (日本人口学会会長・札幌市立大学)

開催校代表挨拶 中山 理 (麗澤大学学長・道徳科学教育センター長)

報告

1. 近世日本の妊娠・出産管理——「いのち」をめぐるせめぎあい 沢山 美果子 (岡山大学)
2. フランス家族政策の起源——19世紀から第2次世界大戦 大塩 まゆみ (龍谷大学)
3. 戦間期スウェーデンにおける人口減少の危機とミュルダール 藤田 菜々子 (名古屋市立大学)
4. 戦間期日本における優生—優境主義の形成と展開 杉田 菜穂 (大阪市立大学)

会場：麗澤大学 校舎「かえで」1503 教室

アクセス：「南柏」駅 (JR 常磐線・各停) 東口より

東武バス (1番乗り場)「麗澤大学前」下車 (約4分)

<http://www.reitaku-u.ac.jp/about/access.html>

参加費：**無料**

● プログラムの詳細

「日本人口学会第68回大会」で検索し、ご確認ください。
<http://www.paoj.org/taikai/taikai2016/>

● お申込みは WEB で

「麗澤大学」で検索し、新着情報の「イベント 日本人口学会第68回大会を開催」よりお申し込みください。

<http://www.reitaku-u.ac.jp/>

申込期間：5月18日 (水) ~ 6月8日 (水)